

6月24(月)

「6年生 道徳の授業から」

校長 杉浦 芳則

おはようございます。土曜日、日曜日は、元気に過ごせましたか。校長先生は、土日のお休みには、現在文京区の中学校で行われている「文京区立中学校バスケットボール大会」の試合の審判をしながら、健康管理を行っています。今の時期は、暑かったり寒かったりと気温の変化が激しく、体調を崩しやすい日々ですので、風邪などひかないよう十分注意してください。

今日は、校長先生がこの前、あるクラスの授業を見学に行ったときのお話をします。ちょうど6年生が道徳の授業で、クラスにある花瓶を割ってしまった児童の、心の葛藤が授業になっていました。みんなも、「間違い」「失敗」をしてしまうことがあると思います。校長先生もよく失敗をして、いろいろな人に迷惑をかけることがあります。そんな時、みんなはどうしますか。間違っ、ものを壊してまったり、急いでいて人にぶつかってしまったり、あるいは、気が付かないうちに人に迷惑をかけてしまったり、様々な失敗や間違いをしてしまうことがあると思います。しかし、そこで「嘘をついたり」「ごまかしたり」「隠したり」することはないでしょうか。間違いや失敗は、誰にでもあるはずです。そんなときこそ、正直に「ごめんなさい」と謝って、次に間違いや失敗をしないようにすればいいのです。嘘をついたり、ごまかしたり、隠したりすると、さらに人に迷惑をかけることになってしまいます。

ぜひみんなは、失敗や間違いをしてしまったとき、先生やお家の人に正直に話して反省してください。次に同じ失敗や間違いをしなければ良いのですから。